

# Book Review

## “超音波”を攻略せよ ペリオドンタル・デブライドメント プラス 1

大野純一 編著／光家由紀子・加藤雄大・倉治竜太郎 著

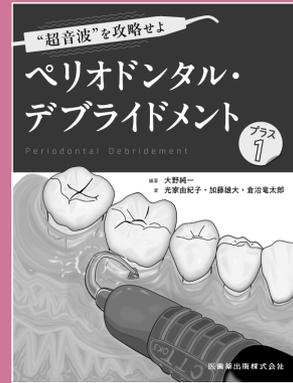


Reviewer

中居伸行 Nobuyuki Nakai

(京都府・医療法人インターメディカル なかい歯科)

A4 判変, 128 頁  
カラー  
定価 11,000 円  
(本体 10,000 円+税 10%)  
医歯薬出版刊



評者と長年ともに「ロジカルプランニングセミナー」を共催している盟友、大野純一先生（群馬県）編著の最新刊である。まずはお祝い申し上げたい。

本書の狙いは「戦わずして、あるいは最小の労作で歯周病に勝つこと」である。派手なことはいないけれど、これまでにない大変洗練された戦略・戦術書である。

しかしながら、率直に申し上げてこの本は企画・編集が間違っている。どう考えても、ここに含まれている4章は独立して分冊にして出版できる充実した内容で、それがコンパクトに一冊にまとまって、しかもこの価格設定。明らかにおかしい。

光家由紀子先生（東京都）が担当した「第1講 歯根形態を知ろう」はそのまま世界初の歯根面の解剖学。今まで、エンドや外科のための解剖学書はあったけれど、こんなものほしかった！というようなペリオのための解剖学書になっている。

「第2講 超音波インスツルメント」は本書を特徴づける超音波スケーラー

を主体とした技術的指南書となっている。非常にプラグマティックだけれどユニバーサルな内容。特に実際に治療にあたる歯科衛生士には熟知しておいてもらいたい知識が網羅されている。

加藤雄大先生（福岡県）担当の「第3講 歯周基本治療におけるインスツルメンテーション」と倉治竜太郎先生（東京都）担当の「第4講 インスツルメンテーション後の治療とその維持—メンテナンスの誤解と常識—」は歯周病治療の入口と出口をしっかりと押さえてあり、あまりの高濃度のため評者は脳内希釈して少しずつ読み進めたことを告白する。

ツボにはアンダーラインを引いてあるから、ついわかったつもりになるかもしれないけれど（実際わかりやすい）、デキる読者にはもう少しじっくり読んでいただきたい。そのアンダーラインの一文に辿り着くまでのロジカルな思考プロセスを自分なりにゆっくりと追体験すると、この本の価値は倍増する。

「科学的根拠！」とか「エビデンス

ベースド！」などと声高にアピールすることに著者らは何の価値も感じていないが（それは当たり前のお作法だから、むしろ恥ずかしいとさえ思うだろう）、本当の価値はその背景をなす古今の質の高いデータの紹介である。つまり、本書はスーパータイトなペリオのナラティブレビューでもある。一歩進んだ Dr. DH はさらにこれらの一つひとつをしっかりと自分の臨床の引き出しにしまっておこう。そうすることによって、日々のバリエーションに富んだペリオ臨床の局面において、個別で応用可能な最適解をロジカルにプランニングできるようになり、それらは読者の一生の武器となるだろう。

“プラス1”の内容はロジカルプランニングセミナーの奥義でもあり、ネタバレになるので本書を手にとってからの楽しみとしていただきたい。

まずは、破格のコンテンツが詰まった『ペリオドンタル・デブライドメント』を購入せよ！